

# 松ヶ崎社協だより

発行  
松ヶ崎社会福祉協議会

編集責任者  
関 口 力

## 平成二十七年の 火災・救急件数について

左京消防署修学院消防出張所

向 徹 也

左京消防署で松ヶ崎学区の防災指導責任者として、学区民の皆様への防火・防災指導に携わっています。向と申します。

平成二十五年四月から左京消防署修学院消防出張所に勤務し、松ヶ崎学区の担当者となりました。早や三年が過ぎようとしています。この間、松ヶ崎学区自主防災会、消防団をはじめとする各種団体の関係者の皆様には、大変お世話になっております。とに心から御礼申し上げます。

さて、平成二十七年の市内の火災件数ですが、前年比四件の減少の二二三件でした。また、火災に伴いお亡くなりになられた方が六人と、これは前年比十一人の減少となり、昭和三十九年以来の少ない人数でした。しかしながら、火災で大切な命を亡くされた方がおられたことは、防火防災指導を通して安心・安全のまちづくりを推進する我々、消防職員として非常に残念なことであり、焼死者ゼロを目指して、更なる防火活動を展開していくかなければなりません。松ヶ崎学区につきましても、平成二十七年は火災が発生しておらず、引き続きこの状態を堅持していただきますようよろしくお願い申し上げます。

年間二〇三〇件ほどの火災と言いますと、市内のどこかで三日に約二件の火災が起きていると

- 1 家の周りやガレージなどに燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- 2 燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- 3 古新聞や段ボールなどは、物置や倉庫に入れて鍵を掛けます。
- 4 地域でのごみ出しのルールを決めて、みんなで守りましょう。
- 5 門扉や物置にはしっかりと鍵を掛けて、不審者の侵入を防ぎましょう。

いう計算になります。四十一年連続して火災原因の一位となつては放火です。放火は、平成十年の年間一六六件をピークとして減少を続けていたものの、近年は横ばいの状態が続いています。また、平成二十六年の七月下旬から八月上旬にかけて、伏見区において連続放火火災が発生し、その火災により市民が犠牲となった痛ましい事案が発生いたしました。

これらのことが契機となりまして、放火火災から大切な命や財産を守るため、市民の皆様に取り組んでいただきたい内容について、昨年十一月に京都市火災予防条例が改正されました。具体的には、次の事項に取り組んでいただきますようよろしくお願い申し上げます。

- 1 建物の周りなどに、燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- 2 家の周りやガレージなどに燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- 3 古新聞や段ボールなどは、物置や倉庫に入れて鍵を掛けます。
- 4 地域でのごみ出しのルールを決めて、みんなで守りましょう。
- 5 門扉や物置にはしっかりと鍵を掛けて、不審者の侵入を防ぎましょう。
- 6 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。
- 7 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。
- 8 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。
- 9 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。
- 10 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。
- 11 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。
- 12 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。
- 13 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。
- 14 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。
- 15 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。
- 16 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。
- 17 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。
- 18 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。
- 19 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。
- 20 センサーライトなど、放火火災の防止に有効な機器を設置しましょう。

見知らぬ人を見つけたら声を掛けることも効果的です。放火火災を防ぐためには、市民の皆さんの力が必要です。消防署や消防団も、皆さんと一緒に地域の防火防止に取り組めます。地域社会の一員として、お互いに協力し、放火されない環境づくりを進めましょう。

一方、平成二十七年の市内の救急件数は、前年比一五九三件増加の八三三三六件で、平成二十一年から七年連続の増加となり、過去最多となりました。

救急件数の増加に伴い、救急車が現場に到着するまでの時間が遅くなり、救えるはずの命が救えなくなってしまうことが懸念されますが、京都市消防局では救急車が到着するまでの平均時間約六分三十秒を堅持しています。全国平均で言いますと、約八分三十秒になりますので、これがいかに優れていることが分かっていただけるかと思えます。しかし、このまま救急件数が更なる増加の一途を辿ると、今後この時間を維持していくのは難しいかもしれません。そこで、急病人やけが人が発生した場合には、緊急性や不安を感じたら迷わず一一九番通報をお願いいたします。大切な命を救うためにも、救急車の適正な利用について御理解と御協力をお願い申し上げます。

振り返りますとお願ひばかりの内容となりましたが、私も市民の皆様への安心・安全な生活を守るため、職務に邁進してまいりますので、平成二十八年度も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

# 第十八回 敬老会

十月十六日(金)

今回は、一般の方々がいつもより多く御参加下さいました。午前の部では、関口会長、そして来賓の方々の御挨拶に続き、松ヶ崎小学校三年生の皆さんによる素敵な歌と、リコーダーの演奏があり、児童一人づつが演奏曲の紹介をしながら進行を務めてくれました。ステージの子供たちは、自分のおばあちゃんや友達のおじいちゃんやが来てくれたのが嬉しかったようです。そして、松ヶ崎小学校校歌の合唱の時には、テーブルのおじいちゃん、おばあちゃんたちが一緒に歌っている様子にびっくり！子供たちは校歌を通して松ヶ崎の歴史を感じ取ってくれたようです。それから、各テーブルに移って理科学習、大文字遠足、交流給食などの様子を話してくれ、「緊張したけど、とても楽しかった。またおじいちゃん、おばあちゃんに会いたいなあ」と語ってくれました。



ては、きれいな女性がおられると、気が散ってしまう。高座ができないのですが、今日のお客様はその心配がまったく無く、断が出来ます」と。ここで皆さん大笑い！軽いくすぐりで会場の気分をほぐしてくれました。落語は一般的に、①マクラ ②本題 ③オチという三つの要素で構成され、聴き手もマクラの笑いの後、次の展開に興味をそそられます。

断は二つ。始めは「はてなの茶碗(茶金)」。傷がないのに水が漏れる茶碗に次々と付加価値がつき、最後は千両になるといふもの。次に、「やかんなめ(梅見のやかん)」。禿げちやびんの武士の頭を、やかんの代わりに町人の娘がなめるという滑稽な出し物。

断家は、性別・身分を、身のこなしで表現し、「上下(かみしも)を切る」の手法で会話を際立たせ、扇と手拭だけでの小道具を駆使し、断の情景を構成する。聞き手もいつの間にかその空間を楽しんでいる。本当に面白さを堪能しました。その後、誰もいなくなつた舞台には、さすがプロという良い余韻が残っていました。

最後に恒例のすこやか体操で身体をほぐし、村上副会長の閉会の挨拶がありました。次回も楽しんで頂けることと思ひます。



十一月十三日(金)  
少し肌寒い今回のすこやか学級は錦

## すこやか学級

繻の秋から華やかなクリスマスへと、季節の移ろいを感じさせるものになりました。林顧問の「この素晴らしい松ヶ崎の自然に囲まれている秋の美しさをどうぞ楽しんでください」というご挨拶からスタート。吉田先生からも博爱会病院で生まれた亀のお話から、「病院のまわりには、紅葉はありませんが、南京櫨が見事に色づいています。」というお話もありました。歌はもちろん「紅葉」です。この季節、何度も耳にしたり、口ずさんだりするのですが黒板に大きく歌詞を書いていただき情景を思い浮かべながら皆さんと大きな声でゆつくり歌うと深い味わいがありました。

タオル体操で頭と身体をほぐし、ほぐれた頭でクイズを楽しみ、そして看護師さんによる血圧のお話をうかがいました。前回のすこやか学級の時に出席された「年齢に応じた血圧があるので、は？」という質問に対して丁寧な資料を作って頂いての講話でした。

お昼の、美味しい食事を済ませて、午後の最初に小学校五年生全員による三部合唱「遠い日の歌」の、美しいハーモニイを聞かせて頂きました。

工作は十二月には少し早いですがクリスマスツリーのランプシェイドです。朝の学級の始まりの時から黒板の前の机の上に、赤、黄、緑の三色のツリーが並べて飾られてありとても愛らしので皆さんも楽しみに待っておられたのです。

色のついた厚紙をツリー型に切って、はさみで切りこみを入れて中から光が



もれるように透かし部分をつくります。全体には小さく四角に切った色とりどりのマスキングテープを使ってまるでデコレイションのようにきれいに飾ります。一番上にはキラキラする星も貼り付けます。裾模様の様に下の方に重点を置いて貼っていく人、手早くささと仕上げの人、全体に星をちりばめてみる人、いろんなツリーが出来ました。その中にLEDライトを灯してランプシェイドにします。ライトもスイッチを入れると本物のろうそくのように灯りがゆらゆらと瞬くものを用意していただきました。

「まあーきれい」「子供に帰ったようでした。楽しかった」と作品を見せあいながら笑顔です。

今日は、この少し早目のお手製のクリスマスツリーがお土産です。本番のクリスマスマスの時には、このランプシェイドで、すこやか学級での楽しいひと時を思い出していただける事と思ひます。



三月四日(金)  
暖かい春の訪れですね……と林顧問の挨拶とともに、今年度最後のすこやか学級が小学校のふれあいサロンで十一月より始まりました。今回は、十二、一、二、三月のお誕生日の方々をボランティアの人々も含めてなごやかに祝福しました。続いて、うれしい雛まつり、春よ来い、を合唱しましたが、今朝から訪れた春の日差しに心も浮き立つ気分でした。



まずはタオルを使っての身体ストレッチです。寒い冬の間、身体が硬直しているの、急に伸ばすと筋に負担がかかるので、ゆっくりのストレッチが大切とのこと。



次は、脳のストレッチです。単語の反対読み、一人じゃいけない、引き算脳トレで、ワイワイガヤガヤ、単語反対読みは、五文字以上になるとなかなか難しいでした。看護師さんからの健康講座は、「血圧の正しい測り方」でした。

○朝は、起床後お手洗いをすませ、少しゆっくりにしてから食事の前に測定。

○夜は、お風呂に入った後、少し時間をおいて寝る前に測定。

○心臓の高さに血圧計を合わせて、同じ測定器で毎日同じ時間に測る。○記録をつけて、医師の判断をおおぐ慣例の年度末集合写真の後は、三月にふさわしく桃の可愛い枝を添えたちらし寿司弁当をいただきましたながら、ランチタイムをすごしました。

昼食後に楽しいサプライズがありました。松ヶ崎小学校の一年生が六十名ほど先生とともに入ってきて、けんだまの披露や、よろしくの可愛い歌を歌ってくれました。一年生といっても、四月からは二年生。みんなとてもし



っかりとしていて、大きく感じました。



午後は、のりものあいうえおのお遊びです。「ふね」「きしゃ」などと言いながら、頭文字を消していったって五十音を制覇してゆきます。ぬ、む、る、んの四文字は制覇できませんでした。残念。

最後は、「写真タペストリー」の制作です。布紙に切り込みを入れ、そこへ桜の枝を差し込み、桜と小鳥をあしらって出来上がりです。本日の集合写真を飾られました。

すこやか体操で、今日の疲れをとって、二時二十分にお開きとなりました。途中参加の方も含めて、男性五名、女性六名の参加でした。

\*参加してくださった方々の感想は、「体操、脳トレ、工作、お食事とバラエティに富んでいるので参加している」「指導の先生がとても楽しくて、毎回楽しみにしている」とおっしゃってくださいました。来年度も新、旧含めて、沢山のご参加をお待ちしています。\*

### 第二十回 学区社協活動交流会

十月二日(金)

左京区における二十六の社会福祉協議会の役員、各地域の包括支援センターの方、及び行政の関係者が京都教育文化センターに会し、「わが学区社協のあり方を人・組織・施設・関係団体(機関)の中で考える」とのテーマの下、活発な意見交換がなされた。松ヶ崎か

らは四名が参加。実践報告・分散会・各分散会報告の三部で構成され、十時から三時に及ぶ長丁場を感じさせない、実質的で密度の濃い内容となった。各地域の取り組みに対する温度差を実感することができると共に、これからの活動の方法に関する示唆を得られた一日であった。

### 区民運動会

十月四日(日)

秋の一大イベント。体育振興会主催の区民運動会が盛大に開催されました。社協役員は売店担当としてジューズ・パン・おにぎり売りをお手伝いしました。合間を見て応援に行ったり、競技に参加したり運動会参加者の方々と共に青空の下での一日を満喫させて頂きました。品物も順調に売れて何よりでした。



### 左京区災害ボランティアセンター設置訓練への参加

十月十七日(土)

左京区社会福祉協議会主催になる当訓練は、左京区役所において開催。今年で第五回目となり、当日は災害発生直後からボランティアセンター設置までの手順までのレクチャアを受けました。地区ごとに振り分けられた八つのグループに分かれての討議が行われ、活発な意見交換がなされた。ただ、災

害に関してはメディアからの知識しか持ち合わせていないものにとっては、現実味を帯びて実感するには至らない面もあった。しかし、こうした訓練を通し、災害は決して離れた地域での悲劇ではなく、いつ降りかかってくるかわからず、その時にはどう行動すればよいのかという指針を理解できただけでも大きな成果であった。

### カラオケ大会

十二月十一日(金)

当日の午前中の天気予報は雨模様でしたが、一般参加の三十二名の皆さんは、雨にも関わらずに会場のアピカルイン京都にご来場下さいました。会場は皆さんの楽しい会話が弾む良い雰囲気。挨拶のあと、皆さん早速得意の歌を披露下さいました。トップバッターの「人性童歌」に始まり、二曲目は「魅惑のワルツ」。そして三曲目、四曲目と次々と歌声が流れました。

美味しい昼食の後、最後の部の開始。そして本日の全三十八曲最後の曲目は「お我が人生」でした。どの曲も味わい深く、さすが皆さん、人の深い情念を歌う歌唱力は人性の重みを感じさせてくださいました。

今回の参加者の皆さん、そして新しく御参加下さる皆さんが次回のカラオケ大会を心待ちにしてください。ことを役員一同願っております。





### 地域子育て支援 ステーション事業



十二月十六日(水)

松ヶ崎児童館が主催され、左京子どもセンターの協力を得て、左区総合庁舎一階会議室に於いて十時三十分～十一時三十分まで開催。トイハウス童の方を講師に招き、「木のおもちゃにふれよう」とのテーマで、こどもの発達に合ったおもちゃの与え方についてのお話。出席者は、乳幼児さん三十一名(事前申し込み十六名、当日飛び込み十五名)、保護者は二十九名。実際に木のおもちゃで親子が遊びながら、みなさん楽しい一時間をすごされました。



### 左京区 社会福祉大会

十一月十八日(金)

於グランドプリンスホテル

「式典及びシンポジウム」「交流懇親会」の二部により構成され、式典においては、各種挨拶のあと、功労者表彰として、松ヶ崎からは、杜協の役員であり、民生児童委員(主任児童委員)として尽力されている梅原慈子さんが受賞されました。おめでとございませう。功労者表彰に続き、「当事者の方々の声を地域福祉活動に活かそう」をテーマとしたシンポジウムが開かれ、懇親会においては、近隣諸学区の方々の貴重な意見交換に楽しく、且つ有意義なひと時を過ごしました。

### 京都市 社会福祉大会

一月八日(金)

於京都ホテルオークラ

例年の如く、当会は三部構成となっており、第一部においては、顕彰事業として、京都市長表彰・京都市社会福祉協議会会長表彰が行われ、松ヶ崎からは、杜協役員で民生主任児童委員の岩崎洋子さんが表彰されました。おめでとございませう。第二部では、仏教大學教授岡崎祐司氏による「新たな段階に入った福祉改革、地域福祉をどう創るか」と題する記念講演が行われました。そして、第三部では、京都市内十一区の福祉団体による懇親会が盛大に開催され、普段ではなかなか実現することの無い他地域の方との交流を深めることができました。

### 世代間交流 新春お楽しみ会

一月二十四日(土)

今年も地域に密着した行事として定着してきた世代間交流「新春お楽しみ会」が松ヶ崎児童館において開催されました。

開場と同時に大勢の来場者を迎え、開会発声後児童館学童クラブの児童さんによる「カップス」と「剣玉」の発表がありました。「カップス」では「やさしさにつつまれて」の曲に合わせて、カップを叩いてリズムを打っていく素敵なパフォーマンスに魅了され、見事に揃ったリズムに魅了され、感動の拍手が送られました。「剣玉」では、日頃より遊びの中で培った自分の得意技、小皿・ろうそく・宇宙一周などを誇らしげな面持ちで難なくこなしてくれました。また全員で曲に合わせてダンスを踊りながら、剣玉をするという楽し



いパフォーマンスを見せてくれました。見事ながら出来るなんて！見ている側も拍手を打ちながら「エア剣玉」を楽しみ、会場全体が盛り上がりました。学童クラブの皆さんの楽しく一生懸命な姿に感動しました。

館庭では、前日より準備された餅米がせいろで蒸され、杵でこねられ、つき手と返し手の絶妙な間合いでの餅つきが来場者を喜ばせました。初めて餅つきを見る子供たちも重い杵を持ち上げ挑戦していました。傍では乳幼児さんを連れて見えたお母様が餅つきの光景を見て、「小さい頃、田舎に行ったら曾祖父さんが餅取りをしていたのを思い出したわあ」と、小さなお子さんに話される姿もありました。そして、児童館の先生方、保護者有志の方、少年補導委員・体育振興会の方、本会役員の手により、お雑煮・きな粉餅・しょうゆ餅・ぜんざいが料理され、来場者に振舞われました。具沢山の手作り雑煮を味わい、温まり、四種の料理を堪能して頂きました。



した。傍らでは、乳児さんを抱っこされたお母さんを見て、「赤ちゃんを見ていますから、あなたも御餅を頂いてー」とのお優しい言葉かけが聞こえ、世代交流がなされてい



るとの実感を新たにしました。ただ、ノロウイルスの感染予防のため、皆様は振舞った御餅は購入したものを頂きました。御餅を頂いたあとは、「サトちゃんケンちゃん」の腹話術を鑑賞しました。サトちゃんケンちゃんの楽しい掛け合いと腹話術師さんの声？に興味が増らんだ様子で、一同思い切りの笑顔で楽しみました。御餅をつくる人、焼く人、そして食べる人。乳幼児さんからご年配者の方まで、皆んな、みんな集まって、盛大のうちに身も心も温まり、「食べて笑って新しい年を迎えよう」の趣旨通りの素敵なお祭りを過ごして頂けたと思います。



### お詫の訂正

先号(三十五号)二頁に、京都市大原地域包括支援センターに関する情報掲載しましたが、誤解を生じかねない記載箇所があり、ここに訂正し、関係者にお詫ひ申し上げます。

「大原包括の出張所が区役所の二階にある」→「区役所の二階にある、介護保険係、支援第二係(高齢福祉担当)の久多・大原・八瀬・上高野・松ヶ崎学区担当の出張所」のものが、高齢サポート・大原です。」

### 編集委員

- 関口 力
- 岩崎 洋子
- 梅原 慈子
- 古谷 佐代子
- 岩崎 禎子
- 林 久雄

印刷所  
有限会社 章美プリント  
〒601-8441  
京都市南区西九条南田町41  
TEL 075-691-1624